

キャピタルスポーツ社長

新谷 和敬さん(43)

ミャンマーにテニスを普及させる。そのために国内でテニスラケットを集め、ミャンマーに寄付する取り組みを主導する。この3年間に贈った数は計約2600本にのぼる。

大阪を中心にテニス用品専門店を展開。2014年、ミャンマーにネット通販の法人を設立したのを機に同国のテニス協会と交流を始めた。寄付を始めたのは、同協会からの相談がきっかけ。「テニスを普及させたいが、道具が足りない」。ミャンマーではラケット1本の価格が国民1人当たりの平均月収を上回るという。

思い付いたのは、販促などで使った後に廃棄してしまう「試打ラケット」。当初は自社の試打ラケットを贈ろうとしたが、現地が求める本数にはほど遠い。賛同の輪を広げよう

挑む人 テニス普及へ道具寄付



と、用品メーカーが集う展示会でラケット提供を直談判。現地への輸送も、地元大阪の運送会社に協力を仰ぎ、格安で請け負ってもらった。

寄付したラケットは現地のテニス教室や選手育成の場で使われる。「そのラケットで練習を積んだ選手が、いつか世界で活躍してほしい」。そう願っている。

(大阪社会部 杉浦雄大)